

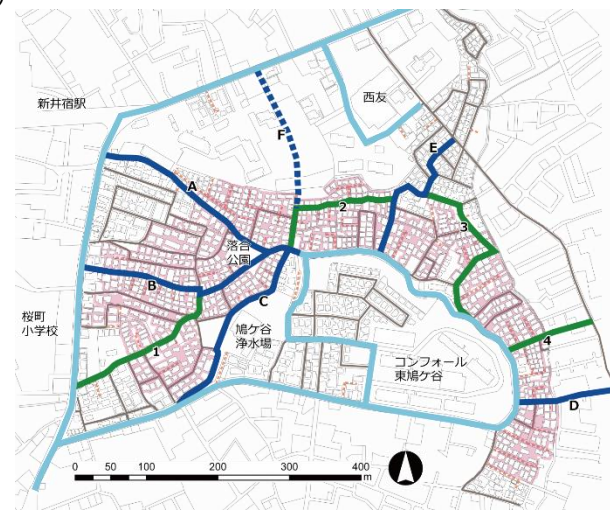
道路ネットワーク(検討案)に関する ヒアリング調査を実施しました！

これまで検討してきた『道路ネットワーク(検討案)』について、沿道にお住まいの土地・建物所有者の皆さまからご意見を伺うため、ヒアリング調査を実施しました。対象者の皆さまにおかれましては、ご協力いただきありがとうございました。

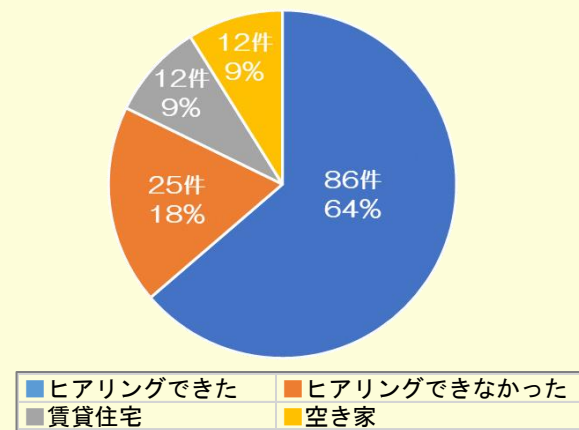
今後は、皆さまから頂いたご意見を参考にしながら、より具体的な計画を検討し、皆さまに対して再度、ヒアリング調査をさせていただく予定です。ご不明点等ございましたら、下記の問合せ先までご連絡ください。

- 訪問期間：令和元年12月～令和2年2月
- 対象者：『道路ネットワーク(検討案)』(右図) A・B・C・D・E路線のうち、桜町3・4丁目の範囲に居住する土地・建物所有者
- 実施方法：市職員と(株)地域計画連合の社員で、平日の午前・午後及び土日の計3回訪問し、ヒアリングを実施
- 主なヒアリング内容
 - ・まちづくり協議会、まちづくり活動の認知度
 - ・当地区におけるまちづくりの必要性について
 - ・整備路線となった場合の協力可能性や懸念事項

道路ネットワーク(検討案)



ヒアリング結果
(全路線の対象件数：計135件)



ヒアリングで伺った主なご意見(抜粋)

- ・ 拡幅して交通量が増える事への安全対策も必要。
- ・ 道路用地の買収費や建物の補償費がしっかりと出るなら協力も可能。
- ・ ご近所との付き合いもあるから、近くに代替地を用意してくれるのであれば移り住んでも良い。
- ・ 沿道の方の話を聞きながら検討し、地域の方が望んだ整備ならば協力したい。
- ・ 道路を整備することで、当地区の問題である水害の対策にも繋がると良い。

桜町地区のまちづくりの記録を市ホームページで紹介しています。

桜町まちづくり 検索

【問合せ先】

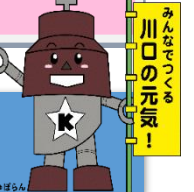
川口市 都市整備部 都市整備管理課(鳩ヶ谷庁舎2階)
TEL: 048-280-1220 (直通) FAX: 048-285-2002

桜町地区

No.11

まちづくりニュース

発行：川口市都市整備部都市整備管理課
編集協力：(株)地域計画連合

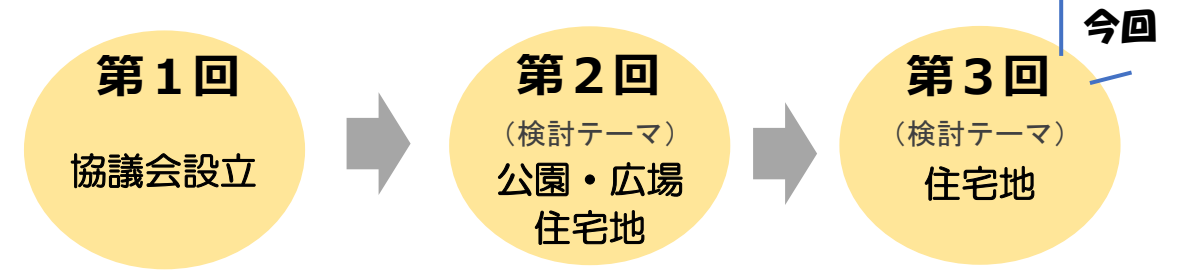


第3回まちづくり協議会を実施しました！

日頃より地区のまちづくりにご協力いただきありがとうございます。本協議会(桜町3・4丁目周辺地区まちづくり協議会)は、周辺の防災性と住環境の維持・向上を目的として昨年7月に発足し、本年2月22日に第3回協議会を実施しました。

第3回協議会までの検討の流れ

第3回協議会では、第2回に引き続き「安心して住み続けられる住宅地」をテーマに、課題や必要な取り組みについて意見交換を実施しました。



当日は、市担当課による整備計画案の説明やヒアリング調査の結果報告を行ったのち、前回に引き続き、3班に分かれて整備計画案についての意見交換・検討を行いました。

当日の内容を一部ご紹介していますので、まちづくりの検討状況を是非ご確認ください。

当日の内容

- (1) 前回協議会の振り返り
- (2) 整備計画案の説明
- (3) ヒアリング調査の結果
- (4) 意見交換
- (5) 今後の進め方

詳しくは中面をご覧ください！



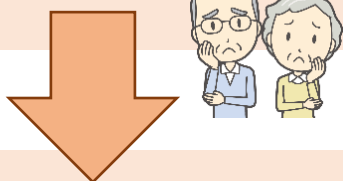
第3回協議会での検討結果（要旨）

「安心して住み続けられる住宅地」について

「人」の観点から

- 後継ぎがない高齢者の方も多く、建替えはせず、自身の代で終わりと考えている方が少なくないのでは。
- 金銭的に建て替えられない方も多いのではないか。

課題・問題点



改善・解決案

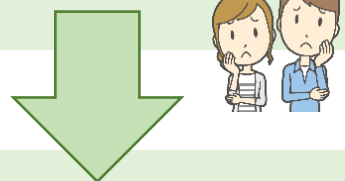


- 様々なライフステージに応じた新たな暮らし方を提案できるとよい。
- 地域に住み続けられる「サービス付き高齢者向け住宅」の需要が高いのではないか。
- 問題点を地域で共有するために、地域全体で勉強会などできると良い。



「土地・建物」の観点から

- 敷地が小さい宅地が多く、接道の状況によっては建替えると更に狭くなり、そもそも建替えできない場合もある。
- 未整備の私道が多く、建替えの際に権利者とのトラブルも発生し得る。



- 所有者の動向を把握し、売買をコーディネートして敷地を広げる。
- 狭小敷地が集まる場所は、まとめて広場等にできると良い。
- 今の場所で建替えられない方のために代替え地を確保する。



Q & A —これまでの協議会で挙がったご意見と回答—

Q： 道路ネットワーク検討案の路線を全て整備するのですか？

A： 必ずしも全て整備するわけではありません。お住まいの方の意向や沿道の状況などを考慮し、優先順位をつけて整備の検討を進めてまいります。

Q： 鳩ヶ谷浄水場は無人で動いているのですか？また、災害時は避難所として使えませんか？

A： 鳩ヶ谷浄水場は遠隔モニタリングと委託業者による保守点検を毎日行っているため、常時人員を配置していません。また、鳩ヶ谷浄水場は無人であり、災害時は水を送る拠点となることから、現時点では避難所として開放する予定はありません。

整備計画(案)について

市では、協議会での検討結果を基に、桜町地区の新たな整備計画を検討しています。以下は、前回挙がったご意見のうち、整備計画への追加を検討している内容です。今回の協議会で挙がったご意見も含め、今後も作成を進めていきます。

＜整備方針に追加する内容（検討中）＞

■ 既存公園の防災性向上

- 落合公園やだんだん公園に「防火水槽」や「かまどベンチ」、「マンホールトイレ」など、災害時に活用できる設備を設置。
- 公園地下に「雨水貯留槽」を整備するといった冠水対策を検討。



整備イメージ（出典：神戸市HP）

■ 「小さな防災拠点」の整備

- 空き地や空き家等の土地を活用し、防災設備を備えた小規模な広場を分散して配置。



かまどベンチ

平常時は普通のベンチですが、災害時には座面を取り外し、炊き出し等を行う「かまど」として活用できます。



マンホールトイレ

平常時は普通のマンホールですが、災害時には簡易な便器や個室を設置し、下水に直接排泄する清潔な「トイレ」として活用できます。

今後の予定

今年度は整備計画案の検討を進めてきました。令和2年度は、整備計画の素案を作成し、アンケート調査等も踏まえて令和3年度以降に整備計画を策定する予定です。

